

カラー 特集	2
スーパーサーキット岡山大会	
カラー ハイライト	4
平成18年度関東学生選手権大会	
アスリートファイル	6
伊藤美誠(豊田町スポーツ少年団)	
カラー ハイライト	8
第25回全日本クラブ選手権大会	
グラビア 特集	10
スーパーサーキット岡山大会	
大会ハイライト	12
平成18年度関東学生選手権大会	
アスリートファイル	15
時吉佑一(早稲田大学)	
大会ハイライト	18
第25回全日本クラブ選手権大会	
高校ブロック大会	20
インターハイ都道府県予選記録	24
この人のこの言葉	30
藤井基男(卓球愛好家)	
練習のヒント	32
織部幸治(ITS三鷹代表)	
新・中学生のための技術講座	34
田村明人(元群馬県中体連委員長)	



6月26日、中野一中で行われた東京都中体連講習会。講師は佐藤監督(協和発酵)。右は旭日双光章を受章した深水会長と奥さま(祝賀会より)



気ままにタイムアウト	36
佐藤正喜(日産自動車監督)	
アープでワープ	37
山中教子(サウンド球貴代表)	
各地ラージボール大会	46
フロントランナー	50
西川幸伸(FAMILY)、井ノ口博子(花野井クラブ)	
クラブ紹介	54
T・T・C平屋(埼玉)、浜町卓球教室(東京)	
ピンポン東西南北	29
第5チャンネル	38
各地レポート	40
みんなのコーナー	56
編集室	56

Message

仮移転の案内

ニッタクは、大正9(1934)年に先々代社長の向原関一氏が、東京・池之端に「ハーター商会」を設立、卓球ボールと万年筆を販売したのがはじまりである。

戦前は、統制化の対応策として、ハーター商会、金井卓球、小泉氏(のちのPAボール)の3社により、合併会社を設立。戦後は、昭和22(1947)年にハーター商会と金井卓球が合併。東京・葛飾でボールを製造、池之端で販売、社名を「日本卓球株式会社(ニッタク)」としてスタートしたのち、昭和42年に池之端から秋葉原(千代田区神田)に移転した。

以上が大まかな流れである。

池之端では20年活動したが、今でも池之端時代の話をする人が多い。卓球台を1台設置、将来性のある子供は

もちろん、全日本ランク選手などたくさんの人たちが集まり、活気にあふれていた。

秋葉原で営業を開始して40年になるが、この度、ビルの老朽化にともない、建て替えることになった。オープンは、平成19年(2007)11月の予定。仮事務所は、台東区蔵前(都営地下鉄浅草線・大江戸線「蔵前駅」/徒歩2分)になる。

移転先。

〒111-0051 東京都台東区蔵前2-13-5。

電話 03-3862-0911(代)

fax 03-3862-2784

電話、fax番号は従来通りである。

(片野)